

厚木演劇鑑賞会第24回総会議案書

会則第9条に基づき、厚木演劇鑑賞会第24回総会を開催します。
全サークルから出席者を出して、実りある総会にしましょう。

2009.2.13 運営委員長 中弥美恵子

総会で話し合われる主な議題とは...

- ・2008年度の活動報告・決算報告・会計監査報告
- ・2009年度の活動方針提案・予算提案
- ・会則の改廃・運営委員の選出など...



実りある総会にするために...

まずは出席して.....例会作品、運営サークルの感想や不満？
サークルクリアーの自慢？厚木えんかんの未来?...などを話しましょう！
総会当日は、この議案書を、忘れずにお持ち下さい。
運営委員・サポート委員になって、会の運営にもっと参加して楽しみたいなあ
という方は、総会当日までに事務局にご連絡ください。

【日時】 2009年 4月12日(日) PM1:30~4:00

【会場】 あつぎパートナーセンター・集会室(4階)

(本厚木駅北口徒歩5分 厚木市中町1-4-3 046-225-2500)

記念講演・伊藤孝雄さん(劇団民藝)

今年の11月例会『静かな落日』に
主演なさる、伊藤孝雄さんをお迎えして
舞台のことなど楽しいお話を伺います...



【時間】 PM3:00~4:00



駐車場は隣接の中町立体駐車場をご利用下さい。
(有料)

厚木演劇鑑賞会

〒243-0014 厚木市旭町5-43-1三橋ビル305 TEL / 046-228-9325 FAX / 046-228-9349
E-mail / atsugi-enkan@ga2.so-net.ne.jp HP / www.enkan.org

はじめに

昨年末の例会、劇団民藝+無名塾公演『ドライビング・ミス・デイジー』の舞台は、今もなお深い印象を残しています。

それは、新劇を代表する俳優、奈良岡朋子さんと仲代達矢さんとの夢の競演という話題性ではなく、共に舞台生活50年を越えて培われた演技力に魅了され、失礼ながら70歳半ばを過ぎてなお舞台に立ち続けている姿に驚嘆せざるを得なかったからです。

また、この作品は、まだ人種差別意識が色濃く残るアメリカの1948年(昭和23年)から1973年の25年間を描いていますが、例会を迎えるまさにその時期に、アメリカでは初のアフリカ系アメリカ人のオバマ大統領が誕生しようとしていた事も印象を深くする要因だったかもしれません。

もう一つ感慨深いのは、この舞台が生まれた経緯です。それは、全国演鑑連・九州ブロック事務局長の川述氏が、奈良岡さんと仲代さんのお二人に共演の話しを持ちかけたことから生まれた舞台だということです。数十年にわたり、車の両輪のごとく、「新劇運動」と「鑑賞運動」を支え続けてきた、お三方だからこそ実現できた舞台だったのです。

無名塾の主宰者である仲代さんと、大滝秀治さんと共に劇団民藝の代表を務めている奈良岡さんは、俳優としてではなく演劇創造団体の責任者として、様々な場所で、演劇鑑賞団体の支えによって舞台を作ることができると、語ってくれています。

私たちも、もっと胸を張って鑑賞会の良さを語っているのではないのでしょうか。

残念ながら2007年に亡くなられた劇団民藝の女優・南風洋子さんが、その1年前の2006年の厚木えんかん第21回総会の記念講演で語られた言葉を、今また鮮明に思い出します。

「...みなさんの会費で、私たちは舞台を作ることができ、生活することができます。だからみなさんは胸を張って、日本の演劇を支えていると言っているのです。...」という言葉。

厚木えんかんは24年前、483名の会員からスタートしました。最高時は、1988年12月例会・イツ・フォーリーズ公演『おれたちは天使じゃない』で、147サークル・会員数1179名、年6回例会で昼夜の2ステージを行っていました。奇しくも昨年の2月例会で再会となりましたが、その時は、85サークル・会員数685名、年5回例会で夜の1ステージでした。

若きアメリカの指導者は「... (困難に対して)恐れでなく、希望を選んだ...」と、大統領就任演説で語りました。

約20年前の数字と比べれば、現在は困難な状況を迎えていると言えます。しかし過去にも幾度となく困難な時はあり、その都度、サークル・会員の力で克服してきました。こうした会の歴史があるからこそ、今また129回目の例会を迎えることができたのです。

会の歴史に誇りを持ち、未来に希望を持って、演劇の輪を広げていきましょう。

全国の演劇鑑賞会の現状

全国演劇鑑賞団体連絡会議(全国演鑑連)は2008年8月現在、加盟142団体、204,085人の会員数を擁しています。

昨年6月、全国の事務局及び創造団体を対象に、「鑑賞運動と新劇運動との連携・連帯を通して(全国の共通理念である)『日本演劇の民主的発展』の中身をさぐる」というテーマで、仲代達矢講演会、九州ブロック・川述文男事務局長の問題提起を中心に、第15回全国研究集会が行われました。

11月には、2年に一度開催の第38回全国総会が行われました。2年間に約2万名の会員減という厳しい活動報告の中、43例会連続して会員数を増やしている砺波(中部北陸)や、62例会連続の紀北(近畿)の鑑賞会の、運営サークルを中心とした例会へ向けての具体的な活動の様子を交えた報告には、学ぶべき点を多く感じながらも、大いなる励ましとなりました。

【全国演鑑連ブロック別会員数】

| 加盟ブロック | 団体数 | 会員総数 |
|----------|-----|---------|
| 北海道ブロック | 8 | 9,619 |
| 東北ブロック | 16 | 23,381 |
| 関越ブロック | 12 | 9,272 |
| 長野ブロック | 7 | 6,180 |
| 首都圏ブロック | 13 | 18,739 |
| 神奈川ブロック | 10 | 14,322 |
| 静岡ブロック | 15 | 18,141 |
| 中部北陸ブロック | 17 | 18,490 |
| 近畿ブロック | 9 | 11,404 |
| 中国ブロック | 12 | 22,305 |
| 四国ブロック | 7 | 10,142 |
| 九州ブロック | 18 | 42,090 |
| 全国計 | 142 | 204,085 |

年度途中で解散した団体も含む。08年8月現在

神奈川の演劇鑑賞会の現状

神奈川県演劇鑑賞団体連絡会(神奈川ブロック)は2008年12月現在、加盟10団体、14,454人の会員数を擁しています。

全国総会を前に、神奈川ブロックでも2年に一度(06年9月~08年8月)開催の第11回総会が10月に行われました。

06年度は、230サークル・1,734人の減少という厳しい活動報告となりました。

08年度(08年9月~10年8月)活動方針は、「ブロックの発展なくしては各団体の発展はなく、団体の発展なくしてはブロックの発展はない」という全国演鑑連の課題に向き合うことを確認しました。そのためにも、ブロックを連絡調整機関から運動体へと体質改善に向けて議論を深めています。

そしてブロックでは、幹事会(全団体の事務局長で構成)・代表者会議(全団体の代表者と事務局長で構成)を毎月定例で開催し、年に一度、全団体の役員を対象に研究集会と活動交流集会を開催するなどして、ブロックの課題に向き合っています。

【2008年の神奈川ブロック・会員動態】

| 加盟団体 | 会員動態 | |
|-----------|--------|--------|
| | 07年12月 | 08年12月 |
| 厚木演劇鑑賞会 | 692 | 674 |
| 海老名演劇鑑賞会 | 984 | 941 |
| 川崎市民劇場 | 3,701 | 3,501 |
| 相模原演劇鑑賞会 | 772 | 707 |
| 藤沢演劇鑑賞会 | 1,153 | 1,138 |
| 鎌倉演劇鑑賞会 | 1,435 | 1,421 |
| 茅ヶ崎演劇鑑賞会 | 985 | 953 |
| ひらつか演劇鑑賞会 | 1,020 | 1,018 |
| 横浜演劇鑑賞協会 | 3,191 | 3,036 |
| 横須賀演劇鑑賞会 | 1,193 | 1,065 |
| 合計 | 15,126 | 14,454 |

2008年度の活動報告

1 運営サークルを振り返って

2008年度も、『私たちの会の原点であり、原動力である「運営サークル」をより充実した活動になるようにし、前例会を越える会員数で例会を迎える、前例会クリアを続け、会を維持・発展させていきましょう。』という活動方針を、2003年の総会から引き続き取り組んできました。

さて、運営委員とサポート委員による委員会では、毎月定例の委員会の他に、テーマを絞って半日かけてのロング委員会を行ってきました。

07年は、新劇運動と演劇鑑賞運動の歴史の学習を行い、まず会の原点の見直しから始めました。08年には、今回総会で提案する会の理念の素案を作り、そして理念をふまえた上で、「なぜ運営サークルなのか？」について話し合いを行いました。

ついで委員会は、すでに会の理念を明文化し、それを運営サークルの活動に反映させている湘南の演劇鑑賞会（藤沢・鎌倉・

茅ヶ崎）の活動を学び、実際に茅ヶ崎の運営サークルの顔合わせ会の現場も見学してきました。そしてその中から、今の厚木えんかで「できること」「できないこと」を話し合い、まずは「できること」から始めてみることにしました。

こうして委員会は、石橋をたたいて渡らないより、歩きながら考えていこう（実行をしながら検証をする）という姿勢で、運営サークルに取り組み始めたのは、昨年9月例会『ピアノのはなし』からでした…。



第23回総会・『おれ天』出演者のミニコンサート

2008年度の
運営サークルのデータ

| 例会作品名 | おれたちは 天使じゃない | ルーム サービス | アラビアン ナイト | ピアノの はなし | ドライピング ミス・デイジー |
|----------------------|-----------------|-------------|--------------|-------------|-------------------|
| 編成サークル数 | 29 | 31 | 30 | 29 | 29 |
| 実働サークル数 | 20 | 22 | 19 | 22 | 23 |
| サークル参加率 | 82.4% | 94.1% | 94.1% | 88.2% | 82.4% |
| 未サークル参加率 | 50.0% | 42.9% | 64.7% | 58.3% | 58.3% |
| サークルクリア率 | 14.3% | 12.5% | 23.1% | 0.0% | 7.1% |
| 未サークルクリア率 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 第1回顔合わせ会 サークル参加率 | 58.6% | 58.8% | 94.1% | 64.7% | 70.6% |
| 第1回顔合わせ会 未サークル参加率 | 33.3% | 14.3% | 7.7% | 58.3% | 58.3% |

サークルクリア率とは、会員を増やしたの運営サークル数÷実働サークル数

2 前例会より会員数を増やして、例会を迎える（前例会クリア）

まずは、「まねる」事からはじめました。

1時・3時・6時だった、顔合わせ会の時間帯を、10時・2時・6時にしました。

1日で行っていた第1回目の顔合わせ会を、複数日にしました。

ポスター大のスケジュール表を作り、顔合わせ会への出席日時、人数を、サークル自身が「出席予定表」に書き込んで表に貼っていくことにしました。

例会当日に行っていた、会報折込み作業を例会準備作業と合併させて、例会1週間前の第3回目の顔合わせ会の作業としました。

また『ドライビング・ミス・デイジー』からは、第1回目の顔合わせ会で、演劇鑑賞会と劇団との歴史を振り返りながら、会の原点について事務局から報告・説明を行うことにしました。そして第2回目以降の顔合わせ会では、話し合いをしてから作業に入るようにしました。

こうした取り組みも今後、実践しながら、そして反省と評価をしていきながら進めていきたいと思います。

昨年、会員数で前例会クリアができたのは、『ドライビング・ミス・デイジー』でした。前例会クリアの目的は、「演劇を見続ける会員を増やす事で劇団の作品創造の力に寄与し、豊かな例会を作る。」ためです。

そこで、運営サークルの時は、『誰かがふやすのではなく、まずは自分たちのサークルで増やす努力をしてみよう。(サークル内クリア)』と確認しあっています。

その指標となるのが、4頁の表にあるサークルクリア率です。神奈川ブロックの2年間の平均サークルクリア率を見ると、一番高いのが茅ヶ崎で34.8%、厚木は18.6%となっています。この違いは「なぜ会員を増やそうとしているか」について、運営サークルの場で委員会がきちんと提案しているのか、そしてこの提案が出席者だけでなくサークル内に伝わっているのか、の違いではないのかとみずからの反省をふまえて委員会は考えています。提案と合意、そして納得から行動へ、という会の基本姿勢を崩さずに取り組んでいきたいと思います。

2008年度の組織データ

| 回 | 作品名 | 入会 | 退会 | 会員数 | 一般 | 家族 | 大学 障害者 | サークル | 未 サークル |
|----------|-------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|------|-----------|
| 124 | おれたちは 天使じゃない | 8 | 15 | 685 | 453 | 228 | 4 | 85 | 73 |
| 125 | ルームサービス | 10 | 12 | 683 | 451 | 227 | 5 | 85 | 69 |
| 126 | アラビアンナイト | 10 | 17 | 676 | 448 | 224 | 4 | 86 | 74 |
| 127 | ピアノのはなし | 5 | 18 | 663 | 423 | 236 | 4 | 86 | 59 |
| 128 | ドライビング ミス・デイジー | 18 | 7 | 674 | 428 | 241 | 4 | 88 | 55 |
| 2008年度平均 | | 51 | 69 | 676 | 440 | 231 | 4 | 86 | 66 |
| 2007年度平均 | | 61 | 97 | 699 | 468 | 227 | 4 | 86 | 84 |
| 対前年比 | | -10 | -28 | -23 | -28 | +4 | ±0 | ±0 | -18 |

年度平均の入退会数は合計数

3 例会のまとめ

第124回例会 / イッツ・フォーリーズ

「おれたちは天使じゃない」

【作】矢代静一 【演出】藤田敏雄

【出演】西本裕行・歌納有里・井上一馬 他



厚木えんかんでは20年ぶり2回目の例会となる『おれたちは天使じゃない』

物語は、大晦日の雪深い山荘に、3人の脱獄囚が逃げ込んだところから始まります。

偶然迷い込んだその山荘で3人は、心ならずも心中しようとしていた父娘を助けてしまいます。助けられた知的障害を持つ娘の光子は、自分を助けてくれた脱獄囚を“天使”だと思いこんでしまいます。3人は、父娘を追い込んだ張本人たちへの仕返しを企みます…。

3人の脱獄囚が光子と触れ合ううちに心優しくなっていく姿…。いずみたくが作曲の、光子の歌うテーマ音楽「翼のない天使」の美しいメロディー、終幕近くで歌われる「今・今・今」の力強い感動的な名曲に、客席はどんどん引き込まれていき、時には笑い、時には涙しながらも、最後は大きな感動の拍手に包まれました。

会員数 / 685名 (前回比 - 7名)

例会参加率 / 87.4%

評価点 / 4.77点

アンケート回収率 / 5.2%

第125回例会 / テアトル・エコー

「ルームサービス」

【作】ジョン・マラー 他【演出】酒井洋子

【出演】安原義人・熊倉一雄・納谷悟朗 他



1929年の世界大恐慌の影響の残る不況の中でも、ブロードウェイで500回もロングラン公演されたコメディ作品です。

舞台は1930年代、ニューヨークのホテルの一室。とある一座が泊まりこみ、新作の稽古に明け暮れている。しかし一座は、ホテルのツケをため込んでいる。そこへホテルの重役が査察のために乗り込んで来たので支配人は大慌て。宿代を払わない一座を追い出さないと、自分自身の首がとぶ。一方、一座はやっと見つけたスポンサーとこの部屋で契約をしなければ初日の幕をあけるところか路頭に迷う。そして両者のドタバタの攻防が始まります…。

熊倉一雄さんらベテラン陣と、若手のアンサンブルが絶妙な舞台でした。1幕、2幕とテンポに乗り切れないところがありましたが、3幕目に入るとぐいぐい舞台に引き込まれ、最後は大きな拍手で客席が包まれました。

会員数 / 683名 (前回比 - 2名)

例会参加率 / 83.6%

評価点 / 3.50点

アンケート回収率 / 1.9%

第126回例会 / 劇団文学座

「アラビアンナイト」

【原作】ドミカ・クック 【演出】高瀬久男
【出演】三木敏彦・松岡依都美・石川 武 他



海老名演鑑との合同例会でした。

物語は、最愛の妻に裏切られた国王が毎夜若い娘を妻に迎えては処刑するという蛮行を繰り返すのを止めるために、王の家臣の娘が自ら王の妻となることを申し出、毎夜「世にも不思議な物語」を語り、王は話を聞くために処刑を延期する…。そして千日が過ぎ、ついにその物語の泉も枯れようとしたとき、果たして娘の運命は…？

舞台中央には、何もない空間の丸い回り舞台だけ。下手には30数種類もの楽器が。そして真っ白い衣裳の役者たち。役者みずからが生演奏をし、様々な役になり代わって「シンドバッドの冒険」などおなじみの物語を演じていくと、私たちの想像力は、何もない空間に舞台装置を出現させ、真っ白な衣裳を色とりどりに変えていきます。これこそまさに舞台の醍醐味だと感じられた例会でした。

会員数 / 676名 (前回比 - 7名)
例会参加率 / 82.2%
評価点 / 4.1点
アンケート回収率 / 9.3%

第127回例会 / 京楽座

「ピアノのはなし」

【作】毛利恒之 【演出】栗谷川 洋
【出演】中西和久 (ピアノ演奏・佐々木洋子)



厚木えんかんで14年ぶりとなる小ホールでの公演でした。

物語は実話です。1945年、佐賀県鳥栖の小学校。音楽学校に通っていた二人の特攻隊の青年が、「明日、沖縄の海に飛び立つ前にどうしてもピアノが弾きたい」と訪れます。音楽担当のおなご先生は体育館のピアノの場所に案内し、「月光の曲」の楽譜をそっと手渡したのです…。

主演の中西さんがタキシード姿で登場。実はピアノが人間の姿となって、その時の状況を語りはじめるという構成になっていました。佐々木さんの「月光の曲」の力強いピアノ演奏にも引き込まれていきます。

最後に中西さんが、知覧から飛び立った若き特攻隊員の遺書を読み上げると客席からはハンカチを取り出す音がそこかしこから聞こえます。こうした舞台と出会えることが鑑賞会の良さと実感する例会でした。

会員数 / 663名 (前回比 - 13名)
例会参加率 / 84.0%
評価点 / 4.71点
アンケート回収率 / 7.5%

第128回例会 / 劇団民藝 + 無名塾
「ドライビング・ミス・デイジー」

【作】アルフレッド・ウーリー 【演出】丹野郁弓
【出演】奈良岡朋子・仲代達矢・千葉茂 他



舞台や映画で数々の賞を受賞した名作を海老名演鑑との合同例会で行いました。

時は1948年からの25年間、場所はアメリカのまだ人種差別意識が色濃く残るジョージア州アトランタ。教師を引退したデイジーは72歳のユダヤ人の未亡人。一人でかくしゃくと暮していたものの車で事故をおこしてしまいます。心配した息子は強引に黒人の運転手ホークを彼女の元へ送り込みます。独立心が強く黒人嫌いのデイジーは頑としてホークの車に乗ろうとしません。しかし、二人の間にはいつしか不思議な友情が育まれていくのでした…。

日頃より演劇鑑賞会との深い絆を語っている奈良岡さん、仲代さんという、新劇の舞台俳優として優に50年以上の芸歴を誇る名優の共演。圧倒的な存在感と、年齢を感じさせない、時に軽妙に時に重厚な演技に開幕と同時に引き込まれた舞台でした。

会員数 / 674名 (前回比 + 11名)
例会参加率 / 89.2%
評価点 / 4.57点
アンケート回収率 / 7.6%

4 会員交流の活動について

観劇バスツアー

すっかり恒例となった、都内への観劇バスツアー。会員どうしなので和気あいあいの雰囲気、電車の乗り換えもなく劇場に直行でき、毎回参加者には好評です。

昨年は、5月に海老名演鑑と合同で、劇団前進座公演『怒る富士』を国立劇場へ、そして9月には2回目となる劇団四季の『ウィキッド』に行きました。特に前進座公演は、役者さんが楽屋などを案内してくれ、一般では体験できない演鑑ならではの特典つきでした。



カルチャー教室

厚木えんかん事務所を利用して、様々な「カルチャー教室」を開催しています。

昨年は、劇団青年座の女優・泉晶子さんを招いての『朗読教室』。会員が先生となつての『陶芸教室』『押し花教室』を行い、『着付教室』『木曜サロン』は毎月定例で行われています。



2008 年度決算報告

総会当日に配付します。

2008 年度会計監査報告

総会当日に行います。

2009 年度活動方針（案）

1. 私たち厚木演劇鑑賞会（厚木えんかん）がめざすもの（＝基本理念）、また、理念を実現するための会のあり方（＝基本方針）を、下記のように明文化します。

厚木えんかんは今年で創立から 23 年がたちました。紆余曲折を経ながらも 23 年続けてこられたのは、『地元で良質な演劇を見続けたい』という創立時の会員 483 名からスタートした熱い思を、「運営サークル」活動を通して受け継いできたからです。

また、海老名演鑑を始めとする神奈川ブロックに参加し、お互いに学びあい協力しあうことは、大きな励みになっています。もちろん全国演鑑連の仲間からです。

そして、新劇団を始めとする創造団体の協力も忘れてはいけません。共に、日本の演劇の発展と普及をめざす中で、お互いに出来ることを協力しあって例会を作ってきました。

困難な状況を前にして、委員会ではともすれば目標を見失い、間違った方針を立ててきたこともありました。まずはその反省の上になんて、そもそも厚木えんかんを立ち上げた想い、そしてさらに遡って、新劇団との連携によって育まれてきた鑑賞会の歴史を学ぶことから始めました。そこから、今までなんとなく分かっていたような、分かっていないような厚木えんかんの存在意義を、まずはきちんと言葉にしてみようという事にしました。

もちろん、理念を作ったからといって、すぐに会員が増えるとは思っていません。けれども、これから方針を掲げ、「運営サークル」の現場で具体的な取り組みを行うにしても、「なぜ運営サークルなのか」「なぜ会員をふやそうとしているのか」をまず再確認する事が必要だと考え、基本理念と基本方針を作り、今総会に提案したいと思います。

厚木演劇鑑賞会・基本理念

私たちは劇団と協力し、演劇の魅力とすぐれた力を、多くの人々の生活に浸透させ、演劇を通して豊かな人間性を育み、豊かな人間関係、豊かな文化性を持った地域社会作りをめざします。

（基本方針）

私たちは理念を実現するために、会員制・サークル制を基本とします。会員みずからが会を自主的に運営し、会員を広げる鑑賞運動に積極的に取り組みます。

時代を見据えたすぐれた演劇を発掘し、生活の中に演劇を浸透させていきます。

私たちの理念に共感する演劇創造団体と共に、日本演劇の発展をめざします。

2. 運営サークルに参加し、劇団と協力して例会を創りあげていきましょう。

年に一度の運営サークル活動こそ会の柱です。そして厚木えんかんの会員であり続けたことの誇りや自信を再確認する場として、「顔合わせ会」にはサークルで、そして複数で参加することを目標にしましょう。

3. 運営サークルを中心に、《前例会クリア》に取り組みましょう。

「なぜ会員を増やそうとしている会なのか」を運営サークルの場で確認し、前例会より会員を増やして例会を迎える《前例会クリア》を実現するために、まずは運営サークルで具体的な目標を掲げて、サークルで新会員を迎える《サークル内クリア》に取り組みましょう。

4. 演劇鑑賞会の基礎はサークルです。サークル内のコミュニケーションを深め、例会を見続けていく力としていきましょう。

サークルは例会を見続ける力となります。運営サークルの時には、サークル内で積極的にコミュニケーションを深めていくようにしましょう。未サークルは、サークル化をめざしましょう。サークルへの編入、未サークルの合併などもすすめていきましょう。

2009 年度の予算（案）

総会当日に配付します。

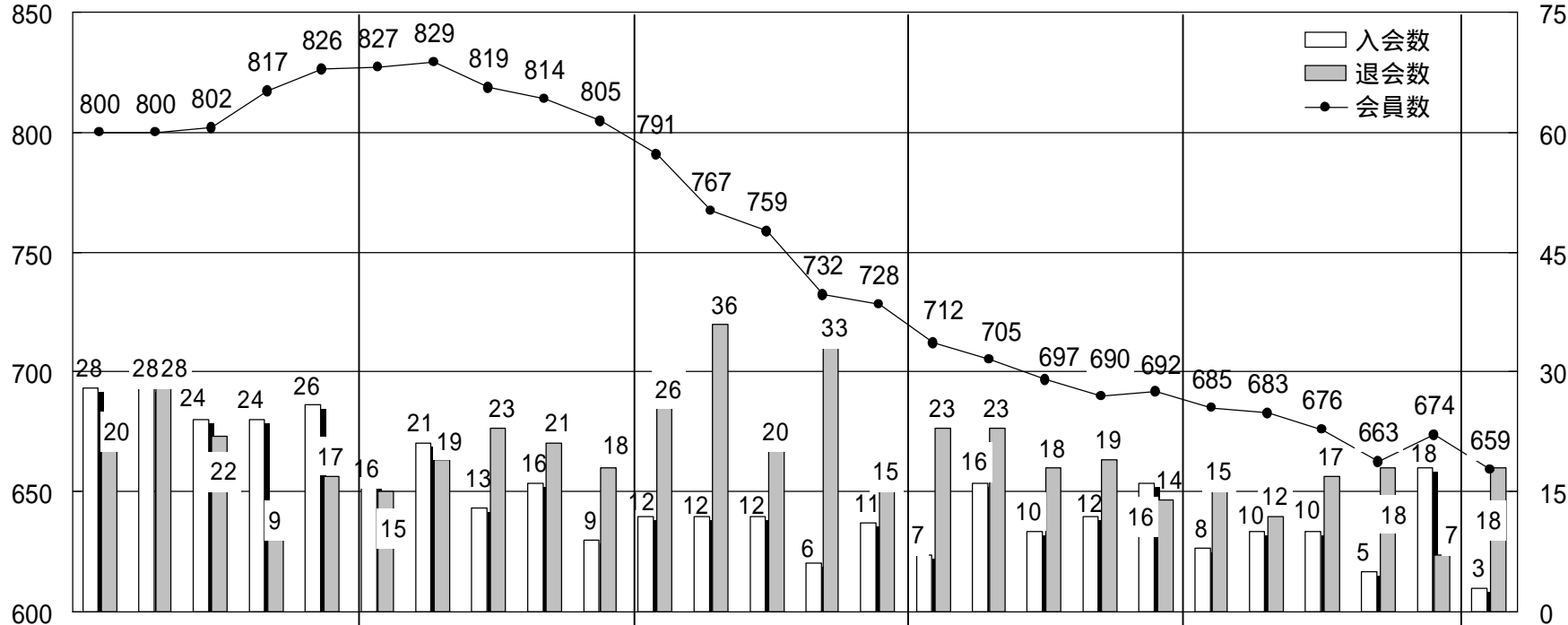
会則改正（案）

| 改正前 | 改正後 |
|---|---|
| <p>第二条（会員）本会の目的を達成するために.....</p> | <p>第二条（会員・サークル）本会の理念を実現するために.....</p> |
| <p>第二章 目的と活動</p> <p>第三条（目的） この会は、営利を目的としない文化団体であり、良い演劇を幅広く定期的に鑑賞するとともに、会員相互の親睦と交流をはかり、専門演劇人及び劇団と協力して良い演劇の普及と発展を目的とする。又、それらを通して地域に根づいた文化の向上に寄与することを目的とする。</p> <p>第四条（活動） この会は前条の目的を達成するために下記の活動を行なう。 一 例会を会員の運営により、年五回以上開催する。 二 この会の目的に適した、他の演劇公演にも積極的に参加する。 三 会報、その他の資料を発行する。 四 演劇に関する研究会、講演会及び交流会などを開催する。 五 その他、この会の目的達成のための活動を行なう。</p> | <p>第二章 基本理念と基本方針</p> <p>第三条（基本理念） 私たちは劇団と協力し、演劇の魅力とすぐれた力を、多くの人々の生活に浸透させ、演劇を通して豊かな人間性を育み、豊かな人間関係、豊かな文化性を持った地域社会作りをめざします。</p> <p>第四条（基本方針） 一 私たちは理念を実現するために、会員制・サークル制を基本とします。 二 会員みずからが会を自主的に運営し、会員を広げる鑑賞運動に積極的に取り組みます。 三 時代を見据えたすぐれた演劇を発掘し、生活の中に演劇を浸透させていきます。 四 私たちの理念に共感する演劇創造団体と共に、日本演劇の発展をめざします。</p> |
| <p>第十五条（会計）を得なければならない。会の予算・決算書、帳簿類は運営委員会の決定がなければ外部に公開できない。</p> | <p>第十五条（会計）を得なければならない。会計処理は、事務局及び第五条役員より選出された会計係が行う。会の予算・決算書、帳簿類は運営委員会の決定がなければ外部に公開できない。</p> |

会員数

厚木えんかん過去5年間の会員動態表

入退会数



・ 11 ・

| 年 | 2004年(平成16年) | | | | | 2005年(平成17年) | | | | | 2006年(平成18年) | | | | | 2007年(平成19年) | | | | | 2008年(平成20年) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|-----|---|----|----|-----------------|---|---|----|----|-----------------|---|---|---|----|-----------------|---|---|---|----|-----------------|---|---|---|----|-----|--|--|--|--|------|--|--|--|--|--------|--|--|--|--|------|--|--|--|--|------------|--|--|--|--|------|--|--|--|--|--------|--|--|--|--|-------------|--|--|--|--|--------|--|--|--|--|------|--|--|--|--|------|--|--|--|--|--------------|--|--|--|--|------|--|--|--|--|----------|--|--|--|--|---------|--|--|--|--|-------------|--|--|--|--|--------|--|--|--|--|----------|--|--|--|--|---------|--|--|--|--|--------------|--|--|--|--|---------|--|--|--|--|
| 月 | 1 | 3/5 | 8 | 10 | 12 | 2 | 4 | 7 | 10 | 12 | 2 | 4 | 6 | 9 | 11 | 2 | 4 | 6 | 9 | 11 | 2 | 4 | 6 | 9 | 11 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 例作作品名 | 綱かけは会員数を増やして迎えた例会 | | | | | その場(おきの)の男たち | | | | | 赤ひげ | | | | | ステッピングアウト | | | | | いのちほつにふるつ物語 | | | | | 冬物語 | | | | | 國語元年 | | | | | 壁の中の妖精 | | | | | 藪原検校 | | | | | パートタイマー 秋子 | | | | | 明石原人 | | | | | 夢があるから | | | | | 龍馬の妻とその夫と愛人 | | | | | 黄金色の夕暮 | | | | | 詩人の恋 | | | | | 宴会泥棒 | | | | | 恥ずかしながらグッドバイ | | | | | 髪結新三 | | | | | 片づきたい女たち | | | | | マウストラップ | | | | | おれたちは天使じゃない | | | | | ルムサービス | | | | | アラビアンナイト | | | | | ピアノのはなし | | | | | ドライビングミス・デイズ | | | | | 嫁も姑も皆幽霊 | | | | |
| 入会総数 | 130名(前年比/+10名) | | | | | 75名(前年比/-55名) | | | | | 53名(前年比/-22名) | | | | | 61名(前年比/+8名) | | | | | 51名(前年比/-10名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退会総数 | 96名(前年比/-38名) | | | | | 96名(前年比/±0名) | | | | | 130名(前年比/+34名) | | | | | 97名(前年比/-33名) | | | | | 69名(前年比/-28名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平均会員数 | 80.9名(前年比/+4名) | | | | | 81.9名(前年比/+10名) | | | | | 75.5名(前年比/-63名) | | | | | 69.9名(前年比/-56名) | | | | | 67.6名(前年比/-23名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

() 2004年3月と5月は、厚木会場が改修工事のため、『毒薬と老嬢』と『すべて世は事も無し』の選択例会を、海老名会場で行いました。

厚木演劇鑑賞会会則(案)

第一章 総則

第一条(名称・事務所所在地)

この会は、厚木演劇鑑賞会と称し、事務所を厚木市旭町5-43-1三橋パークビル305に置く。

第二条(会員・サークル)

この会は、演劇を観続けたい人ならだれでも会員になることができる。会員は、本会の理念を実現するために三人以上のサークルを作り、参加することを基本とする。

第二章 基本理念と基本方針

第三条(基本理念)

私たちは劇団と協力し、演劇の魅力とすぐれた力を、多くの人々の生活に浸透させ、演劇を通して豊かな人間性を育み、豊かな人間関係、豊かな文化性を持った地域社会作りをめざします。

第四条(基本方針)

- 一. 私たちは理念を実現するために、会員制・サークル制を基本とします。
- 二. 会員みずからが会を自主的に運営し、会員を広げる鑑賞運動に積極的に取り組みます。
- 三. 時代を見据えたすぐれた演劇を発掘し、生活の中に演劇を浸透させていきます。
- 四. 私たちの理念に共感する演劇創造団体と共に、日本演劇の発展をめざします。

第三章 役員

第五条(役員)

この会に下記の役員を置く。

- | | | | |
|----------|-----|-----------|-----|
| 一. 運営委員長 | 一名 | 二. 副運営委員長 | 若干名 |
| 三. 事務局長 | 一名 | 四. 事務局員 | 若干名 |
| 五. 運営委員 | 若干名 | 六. 相談役 | 若干名 |

第六条(役割)

- 一. 運営委員長は、総会の決定にしたがい運営委員会を統括する。
- 二. 副運営委員長は、運営委員長を補佐し、運営委員長事故あるときは、その役割を代行する。
- 三. 事務局長は、この会の日常会務を統括する。
- 四. 事務局員は、事務局長を補佐する。
- 五. 運営委員は、この会の会務を担当する。
- 六. 相談役は、運営委員長の諮問に応じ、本会目的達成のために協力する。

第七条(選任と任期)

この会の役員は、会員の中より選出し、運営委員は総会に於いて承認を得、その他の役員は運営委員会に於いて互選で選任する。任期は、次期総会までとし再任は妨げない。但、相談役は運営委員会が別に委嘱する。

第四章 機関

第八条(機関)

この会の機関は、次の通りとする。

- 一. 総会
- 二. サークル懇談会
- 三. 運営委員会
- 四. 幹事会

第九条(総会)

総会はこの会の最高議決機関で、会員及び役員によって構成し、年一回運営委員長が召集し開催する。但し、運営委員会が必要と認めた場合、臨時に召集することができる。議事は出席者の過半数で議決する。総会では、年度活動方針、予算の決定と決算の承認、役員を選出、「会費規定」「運営基金規定」、その他を討議し、承認を受ける場とする。

第十条(サークル懇談会)

本会目的達成を円滑にするため、運営委員会は必要に応じてサークル懇談会を召集することができる。

第十一条(運営委員会)

運営委員会は、総会に次ぐ議決機関で、第五条の役員をもって構成し、運営委員長が必要に応じて召集し、開催する。運営委員会は総会並びにサークル懇談会の決定にもとづき会務を審議し執行にあたる。

第十二条(幹事会)

幹事会は、運営委員会の諮問機関で、第五条一～四の役員と互選による若干名の運営委員をもって構成し、運営委員長が必要に応じて召集し、開催する。

第五章 財政と会費

第十三条(財政)

この会の財政は、入会金・会費その他でまかなう。

第十四条(入会金・会費・手数料・登録料・運営基金・追加会費)

入会金・会費・手数料・登録料・運営基金・追加会費、は会の活動に要する経費(組織運営経費と観劇会経費)に充当する会員の分担金で、所定日に所定の金融機関より納める。会費を1年以上納めない者は会員の資格を失う。ユース会員は年間登録料を納入する。

入会金・会費・手数料・登録料、追加会費は、「会費規定」に基づき運用する。運営基金は、「運営基金規定」に基づき運用する。

第十五条(会計)

この会の会計は、総会に於いて承認された予算に基づいて行なわれ、又、決算は総会に報告され承認を得なければならない。会計処理は、事務局及び第五条役員より選出された会計係が行う。会の予算・決算書、帳簿類は運営委員会の決定がなければ外部に公開できない。

第十六条(会計年度)

この会の会計年度は、毎年1月1日にはじまり、同年の12月31日に終わる。

第六章 会計監査

第十七条(会計監査)

この会の会計を監査するために、第五条に該当しない、二名の会計監査委員を置く。

第十八条(選任と任期)

この会の会計監査委員は、会員の中より選任し、総会に於いて承認を得る。任期は一年とし再任は妨げない。

第十九条(役割)

会計監査委員は、必要に応じ随時監査を行ない、総会に於いて報告する。

第七章 入会及び退会と休会

第二十条(入会及び退会と休会)

この会は、第二条・第三条に同意すれば誰でも入会することができる。但、一回だけとか、選んで見ることはできない。この会を退会する時は、会員証を返却して退会となる。既納の入会金、及び会費は、返却しない。出産・病気・介護等規定の理由により、所定の手続きをすれば休会する事が出来る。

第八章 会則の改廃と委任

第二十一条(会則の改廃と委任)

この会の会則は、総会に於いて、出席者の過半数の賛成がなければ改廃することができない。又この会則に定めるもののほか、「その他の規定」などの必要事項は、運営委員会に委任され定める。

附則

この会は、1986年2月22日(土)を創立年月日とする。

この会則は、1986年5月18日(日)から施行する。

この会則は、2009年4月12日(日)から改正施行する